

事務事業名		交通安全対策事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																								
	施策名	09 交通安全対策の推進																										
	基本事業名	01 交通安全意識の啓発																										
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 07 02																								
所属	部課名	生活福祉部市民環境課																										
	課長名	安田 由紀男																										
	係名	交通安全係	電話 27-3111																									
	担当者	鈴木 英彦	内線 127																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・交通指導員を設置し、広く市民に交通安全思想の普及、交通安全の保持のために必要な指導を行う。 ・大船渡市交通安全対策協議会を組織し、交通安全確保と円滑化に関し、関係機関、団体等と緊密な連携を図り総合的・効率的な対策を推進する。 ①大船渡市交通安全対策協議会の開催②交通安全教室・講習会等の開催③街頭指導及び広報活動④交通安全市民大会の開催⑤交通安全コンクールの実施⑥交通安全推進協力員、シルバー交通安全推進員の委嘱⑦交通安全施設の整備⑧交通災害共済など 事務事業費は、交通指導員への報酬費、被服費、市民大会開催費用、啓発看板の作成(委託)などに支出される。																												
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		事業費計(A)		0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																										
		都道府県支出金																										
		地方債																										
		その他																										
	事業費計(A)		0																									
	人件費	正規職員従事人数																										
		延べ業務時間																										
人件費計(B)		0																										
トータルコスト(A)+(B)		0																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																		
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・交通指導員による街頭指導、交通安全教室など ・大船渡市交通安全対策協議会による交通安全教育の充実・強化と安全思想の普及・奨励に資する各種事業の実施 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 事務事業の概要のとおり	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 交通指導員延べ出動回数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ 交通安全座談会、研修会開催延べ件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 交通指導員延べ出動回数	日	イ 交通安全座談会、研修会開催延べ件数	件	ウ		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 市の人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 交通指導員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 市の人口	人	キ 交通指導員数	人	ク	
名称	単位																	
ア 交通指導員延べ出動回数	日																	
イ 交通安全座談会、研修会開催延べ件数	件																	
ウ																		
名称	単位																	
カ 市の人口	人																	
キ 交通指導員数	人																	
ク																		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民、交通安全関係機関	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 座談会、研修会参加延べ人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 街頭指導参加人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス 市内の交通事故件数</td> <td>件</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 座談会、研修会参加延べ人数	人	シ 街頭指導参加人数	人	ス 市内の交通事故件数	件									
名称	単位																	
サ 座談会、研修会参加延べ人数	人																	
シ 街頭指導参加人数	人																	
ス 市内の交通事故件数	件																	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通ルールの遵守など、交通安全意識を高めてもらう。																		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・交通安全や交通事故に対する意識や備えがある。 ・交通ルールが守られる。																		

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	単位	千円						
			国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円	1,910	1,754	1,830	1,776	1,611	2,016
			地方債	千円						
			その他	千円	1,149	293	293	294	293	293
	一般財源	事業費計(A)	千円	6,215	6,531	6,188	6,129	6,251	7,938	
			千円	9,274	8,578	8,311	8,199	8,155	10,247	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	
		人件費計(B)	千円	14,400	7,920	7,920	7,920	7,920	7,920	
トータルコスト(A)+(B)		千円	23,674	16,498	16,231	16,119	16,075	18,167		
⑤活動指標			ア	日	6,067	7,349	7,065	7,349	6,941	7,000
			イ	件	17	29	43	39	40	50
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	39,376	39,117	38,871	38,712	38,167	38,712
			キ	人	47	43	41	42	42	50
			ク							
⑦成果指標			サ	人	1,297	2,898	3,355	3,234	3,152	5,000
			シ	人	-	630	844	1,059	962	1,000
			ス	件	853	812	823	819	805	700

事務事業ID	0060	事務事業名	交通安全対策事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

交通事故による、人的、物的損害が多く、その減少を図るため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

昭和40年～50年代は小学生の犠牲や若年ドライバーの暴走運転が原因の事故が多かったが、最近は高齢社会に伴い、高齢者の交通事故が増えている。また、交通事故の未然防止、交通安全啓発のため交通指導員や交通安全関係者等による夜間街頭指導など各種街頭指導や交通安全教室などを他市よりも多く実施していたが、それら関係者の負担の軽減を図るため、平成20年度から交通安全活動の見直しを図った。震災により活動体制が整わない団体が一部見受けられるが、徐々に震災以前の体制に戻つつある。また、震災復興に係る車両の増加や災害公営住宅・大型商業施設等の建設、防災集団移転等により交通量、交通環境が変化している。

・H27.4.1組織変更により、課名が「市民環境課」に変更となり、また、「通学路交通安全プログラム」を策定し、通学路に対する安全確保をより強化した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

交通安全活動は良いことである、どんどんやるべき、との声がある一方で、活動が活発すぎてついていけない、やりすぎであるとの意見もあり、平成20年度に街頭指導の回数等事業を大きく見直し、参加者の負担の軽減を図った。

震災後は復興関連により交通量が増えたため、地域公民館などから通学路等の安全確保が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	交通安全意識を高めることは、交通ルールの遵守につながる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	交通安全対策基本法により、交通安全の確保は、国及び地方自治体の責務である。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	交通安全や交通事故に対する意識や備えをもち、交通ルールが守るべき対象は市民であり、その取り組みには、交通安全関係機関が必要である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	震災前と比較し、物損事故件数が増加しているため、一層の交通安全意識の高揚を図る必要がある。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	交通マナーの悪化を招き、交通事故の増加につながる恐れがある。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	交通安全対策は交通安全対策基本法に基づき、実施されているものであり、他に類似事務事業はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費の主なもの、交通指導員への報酬であり、当市の交通指導員の報酬は県内他市の交通指導員と比べても出勤一回あたりの単価は低く、これ以上の削減は見込めない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	最低限の人員で対応しており、これ以上の削減はできない。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	市民全員が、交通安全活動の対象者であり公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり		震災復興による交通環境の変化から、平成27年は震災前と比較して、物損事故が増加した。震災後は、以前のような交通安全活動が困難な地区があることから、各地区個々の実情を考慮しながら活動してきている。また、平成27年度は、シルバードライバーズスクール、ライト早目点灯街頭指導や飲酒運転撲滅街頭チラシ配布の実施などの活動を行った。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も地域の状況を踏まえながら継続して交通安全運動を推進するとともに、地元ラジオ局を活用した交通安全啓発や、様々な助成制度等を活用して交通安全講習を実施するなど、一層の交通安全意識の高揚を図る。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																			
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																							
		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	市民環境課長	安田由紀男

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	震災の被害やその後の復旧・復興のために市内の交通環境が大きく変化していることで、交通事故が多発している。震災の影響で多くの交通安全関係者も被災したものの、交通安全市民大会の開催など、徐々に震災以前の活動が再開できてきており、平成27年度は、適切な事務執行がなされた。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 継続して関係機関と連携を図り、情報を共有しながら交通安全運動を推進する。交通安全推進協力員やシルバー交通安全推進員を活用した地域住民への啓発活動、高齢者を対象とした講習会の開催などを通じて、一層の交通安全意識の高揚を図るとともに、復興の進展に併せて危険個所の把握と管理者へ情報提供・協力要請などを通じて交通安全施設の整備を促進する。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
	<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
